

# 鳥獸被害防止総合対策交付金

鳥獸対策・里山振興課

# 鳥獣被害防止総合対策（鳥獣被害防止総合対策交付金）

## 1 制度の概要

### （１）目的

野生鳥獣による農林水産業等に係る被害防止のための施策を総合的かつ効果的に推進するため、平成１９年に「鳥獣による農林水産業等に係る被害防止のための特別措置に関する法律」（以下、「特措法」という。）が制定された。

各市町村は特措法に基づき、「被害防止計画」を策定し、本事業及び地方財政措置等を活用し、地域における鳥獣被害防止対策を実施する。

県は、大量捕獲技術等の新技術の実証・普及、安全なジビエ利用の促進、人材育成活動に加え、令和３年６月に改正された特措法に基づき、市町村の被害防止対策のみでは被害を十分に防止することが困難な地域において市町村等と連携した広域捕獲を実施する。

### （２）事業実施主体

被害防止計画を策定した市町村及び当該市町村、猟友会、JAなど関係機関で組織された協議会、協議会構成員、県

### （３）補助対象

ア）推進事業：

#### ①市町村・市町村協議会

- ・捕獲対策の推進（わな等の導入、鳥獣の生息状況調査、人材育成 等）
- ・被害防止活動の推進（追い払い活動、被害防止に関する知識の普及、放任果樹の伐採、鳥獣緩衝帯の設置、サル等の複合対策 等）
- ・鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援（有害鳥獣捕獲者への経費支援）
- ・ジビエ等の利用拡大に向けた地域の取組 など

#### ②都道府県

- ・新技術の実証・普及
- ・人材育成活動
- ・ジビエ等の利用拡大に向けた取組
- ・シカ集中捕獲活動

イ）整備事業：侵入防止柵（金網柵や電気柵の設置）、ジビエ処理施設等の整備

### （４）補助率

ア）推進事業：定額、１／２以内

イ）整備事業：定額、１／２以内（条件不利地域 55/100以内）

（侵入防止柵の自力施工を行う場合は、資材費への定額補助）

## 2 令和6年度の実績

20協議会等（17市町村）において、交付金187,781千円（うち推進事業：147,322千円、整備事業：40,459千円）を活用し、捕獲器材の導入や緊急捕獲活動を実施するとともに、侵入防止柵が整備された。

県においては、交付金37,329千円を活用し、GPS首輪や大型捕獲檻を活用したサル対策の実装や生息状況調査、鳥獣被害対策指導員の養成、ジビエの利用率向上や衛生的な処理のための人材育成、シカの広域捕獲活動や生息状況調査などを実施。

## 3 令和7年度の方針

### （1）基本的事項

令和6年度の農作物被害額は86,456千円（前年対比111%）となっており、シカ、イノシシ、サルによる被害額が全体の約94%を占めた。

県民の皆さまが鳥獣被害の減少を実感でき、農林水産業が発展することを目指し、侵入防止柵の整備や「地域ぐるみ」の被害防止活動等の「防護対策」に加え、有害鳥獣の駆除や野生鳥獣の適正管理に向けた「捕獲対策」と、ジビエによる「捕獲鳥獣の利活用」を一層強化するとともに、防護や捕獲を担う「多様な人材の育成」等の取組を強化していく。

引き続き、ジビエ処理加工施設の整備を支援する。

### （2）重点事項

ア）地域協議会が実施する侵入防止柵の整備やICT技術を活用した効率的な捕獲、有害鳥獣の捕獲活動経費など、地域ぐるみの総合的な取組を支援するとともに、県と市町村等が連携した広域捕獲を推進する。

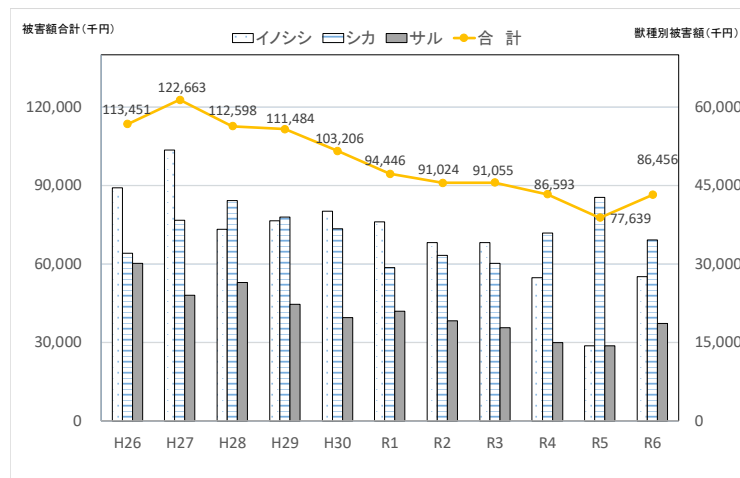
また、サルの位置情報をリアルタイムで共有できる「最新式GPS首輪」による効果的な捕獲手法の検証を実施する。

イ）鳥獣被害対策等の専門家による研修会を実施し、市町村・JA職員等が担う「鳥獣被害対策指導員」を養成するとともに、市町村実施隊員や中核的狩猟者の捕獲技術のスキルアップを図る。

ウ）捕獲鳥獣のジビエ利用の拡大に向け、衛生管理に関する知識を持つ捕獲者の育成やジビエ処理施設における衛生的な技術の向上、空白地域におけるジビエ処理加工施設の整備推進により、ブランド力や供給体制の強化を進める。

# <参考資料>

## ○徳島県における野生鳥獣による農作物被害金額（千円）



## ○地域協議会における鳥獣被害防止施設等の整備及び捕獲檻等の導入実績

| 内 容       | H20～R2 | R3  | R4  | R5 | R6 | 合 計       |
|-----------|--------|-----|-----|----|----|-----------|
| 侵入防止柵（km） | 1,402  | 35  | 36  | 62 | 31 | 1,566km※1 |
| 捕獲檻・ワナ    | 962    | 21  | 20  | 17 | 6  | 1,026基    |
| 獣肉処理施設    | 3      | 2※3 | 1※4 | 0  | 0  | 6施設※2     |

※1 鳥獣被害防止総合対策交付金、鳥獣被害防止施設緊急整備事業及び中山間地域所得向上支援整備交付金の合計

※2 シビエ処理施設は、鳥獣交付金により6施設を整備、自己資金等で整備され施設を含めた全体では、13施設が稼働中

※3 あなんシビエ振興協議会（阿南市）、gibier lab 匠（牟岐町）

※4 穴吹猟友会シビエ処理加工施設（美馬市）

## ○主要鳥獣の捕獲実績（単位：頭）

|      | R2     | R3     | R4     | R5     | R6     |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| イノシシ | 7,427  | 8,855  | 8,112  | 3,141  | 7,330  |
| シカ   | 15,596 | 15,128 | 18,162 | 16,964 | 18,692 |
| サル   | 1,106  | 1,564  | 1,588  | 927    | 2,186  |
| 合 計  | 24,129 | 25,547 | 27,862 | 21,032 | 28,208 |

## ○シカ・イノシシのシビエ利用頭数

|      | R2    | R3    | R4    | R5    | R6    |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| イノシシ | 183   | 257   | 383   | 251   | 322   |
| シカ   | 938   | 1,347 | 1,472 | 1,814 | 2,064 |
| 合 計  | 1,121 | 1,604 | 1,855 | 2,065 | 2,386 |